

会 議 の 記 録

会議の名称	令和5年度第1回伊勢崎市行政改革推進及び行政評価市民委員会
開催日時	令和5年8月9日(水) 午後1時30分から午後2時21分まで
開催場所	伊勢崎市役所 東館5階第4会議室
出席者	委員：内山美智子、大前千鶴子、岡田稔、木賀陽子、下山重之、手塚和弘、南雲秀幸(50音順・敬称略) 事務局：細井企画部長、小此木事務管理課長、土谷課長補佐(兼)行政改革係長、吉田主査、倉上企画調整課長
傍聴人	なし
会議の議題	1 令和5年度第1回市民委員会 (1) 副委員長の選出について (2) 伊勢崎市行政改革推進計画取組結果報告書について (3) その他
会議資料の内容	資料1 伊勢崎市行政改革推進計画取組結果報告書[令和2年度～令和4年度] 資料2 行政改革推進計画取組達成状況一覧
会議における議事の経過及び発言の要旨	開会(小此木課長) 1 令和5年度第1回市民委員会 (1) 副委員長の選出について 会議の成立報告(出席委員数7人) 副委員長の選出については、委員による互選により岡田副委員長が選任されました。 以後、大前委員長が議事を進行しました。 (2) 伊勢崎市行政改革推進計画取組結果報告書について ア 報告書の見方及び取組結果概要について(説明：土谷補佐) 報告書の見方及び令和4年度の取組結果について説明 全55取組項目のうち、計画以上の取組が9項目、ほぼ計画通りの取組が45項目、計画以下が1項目、その内、新規取組項目が1項目であり、計画以上又はほぼ計画通りの項目が、全体の約98%を占める結果となりました。

会議における議事の
経過及び発言の要旨

イ 新規取組項目の1項目、取組達成度が計画以上の9項目及び計画以下の1項目について（説明：土谷補佐）

【新規取組項目の1項目について】

- ① ネーミングライツ事業の導入による自主財源の確保等（総務部管財課）

この取組は、市有施設に企業名や商品名等を冠した愛称を付与するネーミングライツ事業を取り入れ、財源確保や施設の知名度の向上を図ったものです。

令和4年度については、10月から文化会館ほか8施設に、令和5年1月から境総合文化センター及び市庭球場にネーミングライツ事業を導入し、年度の財政効果額は642万1千円となった。令和5年度以降も引き続き導入を積極的に進めていくことで、安定的な財政運営に努めます。

【取組達成度が計画以上の9項目について】

- ① 証明書コンビニ交付サービスの推進（市民部市民課）

この取組は、マイナンバーカードの運用実績の向上と合わせて、交付件数及び証明書コンビニ交付サービスによる証明交付件数の増加により、本取組における指数・目標値であります対象証明書のコンビニ交付率の10.0%を超える16.1%の交付率となったものです。

- ② マイナンバーカード出張申請窓口の開設（企画部事務管理課及び市民部市民課）

この取組は、平常の本庁及び3支所の申請窓口以外の商業施設を含む市内の施設において、マイナンバーカード出張申請窓口を開設し、マイナンバーカードの交付促進を図ったものです。

令和4年度については、令和4年7月から9月にかけて、市内各所と群馬県庁で出張窓口を開設した結果、計画を超える2,824件の受付を行いました。

また、本庁及び各支所におけるマイナポイント申込等支援窓口では、申請サポートが2,684件、マイナポイント申込支援が36,327件と、いずれも計画を超える支援を行い、市民サービスの向上等につなげたものです。

- ③ 温室効果ガスの排出削減（環境部環境政策課）

この取組は、化石燃料の使用量の削減、グリーン購入等の推進等により本市の事務事業からの温室効果ガス排出量の削減を目指すものです。

直近の温室効果ガスの総排出量については、令和3年度で5万480t-CO₂（トンCO₂）となり、中期目標値である5万3,614t-CO₂と比較して3,134t-CO₂、下回ったものです。

- ④ 市税等の収納率向上対策（財政部収納課）

この取組は、適正かつ的確な滞納対策を実施し、市税収入を確

会議における議事の経過及び発言の要旨

保するとともに、収納率の向上を目指すものです。

令和4年度については、市税調定額328億9,394万808円に対して、市税収入額321億1,250万9,310円となり、市税収納率が本取組における指標・目標値の市税収納率97.0%を超える97.6%となったものです。

⑤ 納税機会の拡大調査及び検討業務（財政部収納課）

この取組は、市の収納課等での窓口収納や、日曜納税相談窓口、コンビニ収納等の現在実施している市税納付方法に加え、市民サービス向上の観点から、納税者にとって納付しやすい環境を検討し、整備することにより、現年度課税分の納期内納付の向上を目指すものです。

令和4年度については、納付方法についての情報発信を図るとともに、スマートフォンアプリ等による収納等納税環境の拡大により、安定した収納管理に取り組んだ結果、現年度分収入額319億46万22円となり、市税収納率が本取組における指標・目標値の市税収納率97.0%を超える97.6%となったものです。

⑥ 利活用のない市有財産の処分による自主財源の確保と財産管理の適正化（総務部管財課）

この取組は、自主財源を確保するため、未利用財産等の運用施策を検討し、処分可能な市有地や不用物品については、公売等により処分し、自主財源の確保と財産の適正管理を図るものです。

令和4年度については、処分可能な市有地を積極的に処分した結果、目標額の1,500万円を上回る1億7,530万3千円の売払いとなったものです。

⑦ 診療材料等の納入価格見直しに伴う経費削減（経営企画部財務課）

この取組は、診療材料や医薬品を購入する際に納入業者と価格交渉を行い、経費の削減を図るものです。

令和4年度の歳出削減目標額の2,000万円を上回る3,609万8,754円の歳出削減となったものです。

⑧ 患者自費未収金対策（経営企画部医療サービス課）

この取組は、医療費の支払いが困難な患者に対して、支払い計画の相談や医療費の分納に応じるなどして、患者が支払いやすい環境の整備を図ることと併せて、未収金の回収を強化することで、累積した患者自費未収金の縮減を図り、病院経営の健全化に資するものです。

令和4年度の累積患者自費未収金の縮減目標額の300万円を上回る1,464万1千円の未収金残高縮減となったものです。

⑨ 交通安全施設整備の推進（建設部道路維持課）

この取組は、警察をはじめ関係機関と連携し、交通事故多発地点や道路状況の点検、見直しを行い、道路反射鏡、いわゆるカーブミラーの設置や、道路又はガードレールに反射材として設置さ

れているデリネーターと言われる視線誘導標等を設置することで、交通人身事故発生件数の減少を目指すものです。

令和4年度は目標件数の1,220件に対しまして、77件少ない1,143件となったものです。

【取組達成度が計画以下の1項目について】

① さかい聖苑電気機械設備の更新による施設機能の維持（環境部環境政策課）

この取組は、さかい聖苑内の電気機器や機械設備の老朽化に対応するため、設備機器の更新を優先箇所から順次行うものです。

令和4年度に改修工事予定として計画していた電気機械設備の更新工事が本計画どおりには実施できず来年度以降に延長となったものです。

ウ 委員から事前に提出された9件の意見等について（説明：吉田主査）

① マイナンバーカード出張申請窓口の開設（市民部市民課）

<質問>

マイナンバーカードを持っている人が増えたと思いますが、ニュースのようなトラブルはありましたか。

<回答>

本市において、コンビニエンスストアにおける証明書の誤交付などマイナンバーカード関連トラブルは発生しておりませんが、事務手順の点検や確認作業の徹底を図り、セキュリティ対策に、万全を期してまいります。

② マイナンバーカード出張申請窓口の開設（市民部市民課）

<質問等>

マイナトラブルが頻発し、SNS上ではマイナンバーカードの返納運動まで生じているようです。マイナトラブルが終息・解消するまでは、「増やす」から「慎重」への転換も必要ではないか。中央の暴走を地方が監視抑制するという、地方公共団体の機能も忘れないで欲しいと考えますがいかがですか。

<回答>

本市においても、昨今のマイナンバーカード関連トラブルによる返納の申出やセキュリティ面を不安視するご意見をいただいておりますが、トラブルの多くは、マイナンバーカードの機能やマイナンバー制度を原因とするものではなく、マイナンバー制度運用に係る事務手続きミスが原因であるものと認識しております。

本市では、マイナンバーカードは自治体DXを進めていくうえで重要なツールであると考えており、引続き市民の皆様への更なる取得拡大に向けた取組みを進めてまいります。その際には、市民の声や国の動向を県と共有するとともに、マイナンバーを含む市民の個人情報を取扱う事務については、引続き最大限の注意を払い対応してまいります。

会議における議事の経過及び発言の要旨

会議における議事の経過及び発言の要旨

③ さかい聖苑電気機械設備の更新による施設機能（環境部環境政策課）

<質問等>

新工事は令和6年度以降と先延ばしの事ですが、厳しい財政状況の中での修理にも限界があります。いつでも故障等が起こりえる状況の中で今後の取り組み方も必要だと思えます。そのために現状を把握したいので、利用頻度稼働率等を示してください。

<回答>

令和4年度の利用状況について、まず施設の稼働日数は301日です。稼働率は火葬、動物火葬、式場、待合室についてお答えいたします。火葬における1日の最大利用数は6回のところ、利用件数は729件であり、稼働率は40.36%です。次に動物火葬における1日の最大利用数は4回のところ、利用件数は1,005件であり、稼働率は83.47%です。次に式場における1日の最大利用数は2回のところ、利用件数は157件であり、稼働率は26.07%です。最後に待合室における1日の最大利用数は4回のところ、利用件数は542件であり、稼働率は45.01%です。なお、通夜等の夜間利用が12件ありますが、この中には含んでおりません。

④ 温室効果ガスの排出削減（環境部環境政策課）

<質問等>

公用車への次世代自動車導入の予定について教えてください。

<回答>

消防部局車両及び特種用途車両を除く本市の公用車308台（普通自動車、小型自動車及び軽自動車）を2035年度までに随時、次世代自動車に替えていくものです。

次世代自動車の導入割合は、電気自動車30%、ハイブリッド自動車65%、プラグインハイブリッド自動車5%を計画しています。今後、各自動車メーカーから新たな次世代自動車が開発される予定もあるため、必要に応じて見直しを図ってまいります。

⑤ 市税等の収納率向上対策（財政部収納課）

<質問等>

直近2年の滞納処分の停止の件数と金額を教えてください。また、令和5年度当初での滞納者総数及び滞納総額を教えてください。

<回答>

直近2年の滞納処分の停止の件数と金額について、令和3年度の件数は1,539件、金額は2億227万5,391円、令和4年度の件数は959件、金額は1億4,866万8,591円です。

令和5年度当初での滞納者総数及び滞納総額ですが、総数は6,981人で、総額は6億7,379万1,993円です。

⑥ 安定経営のための財源確保（上下水道局総務課）

<質問等>

令和5年度当初での未収金対象者総数及び未収金総額を教えてください。また、8月～10月までの委託業者による市外訪問徴収に係

<p>会議における議事の経過及び発言の要旨</p>	<p>る委託料金及び委託人員数を教えてください。</p> <p><回答></p> <p>令和5年度当初の未収金対象者総数は延べ人数で11,919人、未収金額は6,277万1,768円です。なお、納期限前のものは除いた数値となっております。2点目の8月～10月までの委託業者による市外訪問徴収に係る委託料金については、市外訪問徴収は、「窓口、料金徴収及び休開等業務委託」の一業務として行っており、市外訪問徴収のみの委託料金は算出しておりません。</p> <p>参考となりますが、令和4年度の委託料は7,194万円です。また、市外訪問徴収に従事している委託業者の人数は5人ですが、市外訪問徴収のみに専従している人はおりません。</p> <p>⑦ 患者自費未収金対策（経営企画部医療サービス課）</p> <p><質問等></p> <p>令和5年度当初での入院費等の未収金対象者総数及び未収金総額を教えてください。</p> <p><回答></p> <p>未収金対象者総数は982人で件数は1,587件です。次に未収金総額は7,102万9,101円です。</p> <p>⑧ 協働まちづくり事業の実施（市民部市民活動課）</p> <p><質問等></p> <p>市民主体のまちづくりは、多様性を反映したまちづくりを目指すうえで重要であると考えます。かかる重要性に鑑み、市民グループの充実過程での支援も重要な要素と考えます。そこで、気にかかるのが、協働まちづくり事業への応募団体の数です。まちづくりプロジェクトの登録団体数が107団体と相当数あるのに比べ、かかる事業の応募数の少なさはどこに起因するものなのか、分析をされていたら聞かせてください。</p> <p><回答></p> <p>応募団体数が少ない原因としては、申請手続きに対する煩雑さや、補助金に対する認知の低さ等が考えられます。</p> <p>市民と協働し、より良い伊勢崎市にしていくために必要不可欠な事業であると考えておりますので、今後は幅広い分野でより多くの市民活動団体に応募していただくために、募集にあたり分かりやすい情報提供や採択事業に対する支援策を研究するとともに、使いやすい補助金となるよう内容等について検討してまいります。</p> <p>⑨ 審議会等における女性登用の促進（市民部人権課）</p> <p><質問等></p> <p>クォーター制への取組みは、男女間格差を是正するためにも重要な取組みであり今後も積極的に女性委員を登用していただきたいと思っております。</p> <p>また、女性人材データベースの充実も必要なものです。そこで、女性人材データベース29名の構成について3点伺いたいというものです。1点目は年齢層分布、2点目は職業分布、3点目はデータベース登録者の審議委員への活用率です。</p> <p><回答></p> <p>審議会等における女性委員の登用については、市民参加条例に基づ</p>
---------------------------	--

<p>会議における議事の経過及び発言の要旨</p>	<p>き、男女の比率とともに幅広い年齢構成となるよう、各所管課において努めているところでございます。</p> <p>1点目、女性人材データバンクの登録者の年齢層分布については、40代から80代までの方々にご登録いただいております。2点目、職業分布については、行政書士、社会福祉士や看護師等と幅広い分野の方に登録いただいております。3点目、令和4年度の市の審議会等への登用者数は、男女共同参画推進協議会へ3人、都市計画審議会へ3人、環境審議会へ1人、地球温暖化対策市民協議会へ3人の計10人で、活用率については34.5%となっております</p> <p><(2)ーウにおける質疑応答></p> <p>委員長：取組達成状況の計画以上が9項目あったという報告でしたが、委員からの質問等は計画以上だと評価されている事業に対して多く寄せられている。</p> <p>ある部分で数字等だけで評価をするという内部評価と、市民評価委員会のように市民目線から見た評価とは異なるのだと感じました。特にマイナンバーについては、「増やす」という方向で出張窓口について評価をされているようですが、全国でマイナトラブルが起きている中でどう修正していくかという視点が少し欠けているような気がしました。</p> <p>特に回答を求めるといえるものではありませんが、審議会等における女性登用の促進に関する回答の中で女性人材データバンクの年齢層の分布データについてはもう少し詳しく年代ごとの人数が分かれば、例えば40代はいないなどが分かるのでそういった回答が欲しかったと感じました。</p> <p>委員：さかい聖苑電気機械設備の更新による施設機能の維持については、予算が付いて初めて達成される事業かと思うが、令和4年度で未達成ということは優先順位が低いということですか。</p> <p>事務局：斎場の工事・修繕計画に関しては、いせさき聖苑とさかい聖苑を合わせた計画となっており、令和4年度についてはいせさき聖苑の空調工事を行っているところです。予算査定の中で使用頻度等の兼ね合いから先送りを判断されたものです。</p> <p>委員長：担当課がない中でこの場で回答を求めるとは難しいところですが、意見を残していただくのは大事なことかと思しますので、ぜひ皆さんから何かありましたら、この機会にご発言をいただきたいと思っております。</p> <p>委員：先ほど、取組達成状況が取り上げられましたが、目標値の決め方については、前年度の実績と比較して何%増やすなど計算して目標額を決めているのでしょうか。</p> <p>事務局：令和2年度に計画を策定しておりますが、その時点で令和6年度までの5年間について、過去の実績やその時の状況等を考慮して目標値を決定しているところがあります。目標値等については、先ほど委員長からもアドバイスをいただきましたことも踏まえて検討させていただければと思います。</p> <p>委員：温室効果ガスの排出削減に関する回答の中で、2035年までに次世代自動車に変えていくというのはわかりませんが、</p>
---------------------------	---

<p>会議における議事の経過及び発言の要旨</p>	<p>財源の確保はどうかというところが気になりました。財政の安定も含めた部分も踏まえた計画にしていく必要があると感じました。</p> <p>また、市民サービスの向上の部分で、いせさき情報メールやSNSを活用した情報発信により、熱中症への注意喚起など良い取り組みだと感じています。伊勢崎市は全国でも一番暑い街ということで有名になっているところがあります。駅前にはミストを設置したり、市役所等の公共施設を熱中症シェルターにしたりと、暑さ対策として行っている取り組みを知ってもらうために情報発信以外の具体的な何かをやる必要があるのかと感じた。</p> <p>事務局：温室効果ガスの排出削減のための次世代自動車の導入予定に関して、国等の補助も活用しながら導入していきますが、多くは市の持ち出しによるところであり、ご指摘のとおり財源のこともありますが、計画の中心に向けて進めているという状況です。また、ご意見をいただいたとおり熱中症シェルターという形で公共施設を開放する取り組みをしているところですが、この情報発信に関しても課題としていきたいと思います。</p> <p>委員長：暑さ対策として駅前ミストや熱中症シェルターの取り組みを発信していくのは必要なことであると思います。熊谷市の例では暑さを売りにして経済効果を求めているようです。健康への影響に関して改善していく伊勢崎市の取り組みも重要でPRすべきところだと思いますが、経済効果の観点からもどう影響しているのかを調査していくことも重要なのではないかと思います。</p> <p>(3) その他（説明：土谷補佐） ア 伊勢崎市行政改革推進計画取組結果報告書の公表について イ 第2回市民委員会の開催予定について</p> <p>閉会（小此木課長）</p>
---------------------------	---